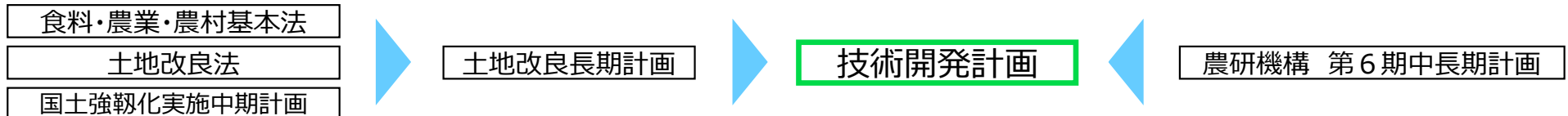


農業農村整備事業に関する技術開発計画の概要

- 農業農村整備に関する技術開発計画（以下「技術開発計画」という。）は、**土地改良長期計画の政策目標の達成に向けて**、実用性に富み、社会に貢献し得る技術開発を推進する観点から、**生産基盤の整備等を通じた農村の振興に必要な技術開発の推進方向と具体的方策**を取りまとめたもの。
- 技術開発計画の実効性を高めるため、「**技術開発計画フォローアップ委員会（仮称）**」を設置。技術開発計画に掲げる重点分野の技術開発、AI等のデジタル技術のフル活用等の**進捗状況と課題を確認し、その評価や改善策を検討**。



土地改良長期計画（R7～R11）

<政策課題>

<政策目標>

政策課題 1：
生産性向上等
に向けた
生産基盤の
強化

1 農地の集積・集約化及
びスマート農業の推進に
向けた基盤整備による
生産コストの低減

政策課題 2：
農業用水の
安定供給
及び良好な
排水条件の
確保

2 国内の需要等を踏まえ
た生産の拡大

政策課題 3：
増大する
災害リスクに
対応するための農
業・農村の強
靱化

3 農業水利施設の戦略
的な保安全管理による持
続的な機能確保

政策課題 4：
農村の
価値や魅力の
創出

4 気候変動等により激
甚化・頻発化する災害
に対応した防災・減災
対策の推進

5 農村における所得の
向上と雇用機会の創出、
農村に人が住み続けら
れる生活環境の確保、
多様な人材が関わる
機会の創出

農業農村整備事業に関する技術開発計画（R8～R12）

- 4つの「重点分野」を定め、**進捗のフォローアップ**を行い、**モデル技術や標準化手法を広く情報発信**
- 大学、研究機関、県、市町村、土地改良区、農業者等の共通認識を醸成し全国的な技術課題への対応を促進

重点分野 1： スマート農業等の推進のための 基盤整備の技術開発

- ・新たな基盤整備手法の確立
- ・設計・工事の効率化、低コスト化 など

重点分野 2： 老朽化等による突発事故防止対策の 技術開発

- ・頭首工の安全性評価手法の確立
- ・機能診断・維持管理の低コスト化 など

重点分野 3： 気候変動等に対応した農業用ため池等の 防災・減災対策の技術開発

- ・ため池の被災範囲の予測
- ・人員を補完する監視技術 など

重点分野 4： 地域資源の活用・環境負荷低減の技術開発

- ・バイオ炭による温室効果ガスの削減
- ・ダウンサイジング可能な農業集落排水など

重点分野の推進に関する取組方法

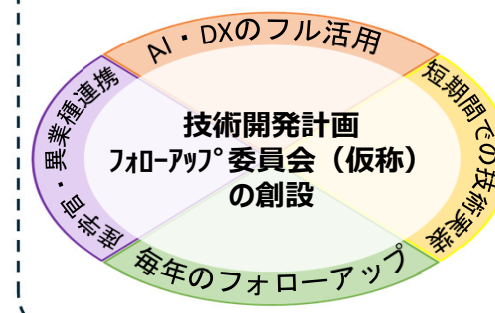
- DX・AIを基盤に、農業・農村インフラの整備と運用を一体的に高度化し、「**農業・農村の未来を支えるインフラ技術の確立**」を目指す
- **異業種連携**なども含めた、**参加型・共同型の技術開発**

AI等のデジタル技術のフル活用

新技術の迅速な導入・普及に向けた取組の推進

技術開発促進に向けた仕組みづくり

幅広い分野・世代の技術者及び研究者の育成・確保



- 定期的なフォローアップ
- 委員会を設置し、進捗状況の確認、評価等を行う